

2021年6月4日

アクションプランの取組状況

令和2年度第4四半期（1月～3月）のアクションプランの取組状況をご紹介します。
アクションプランに対する地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。
新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限の留意が求められるなか、地域の皆様と一体
となって線区の活性化に取り組んでまいりました。

※ アクションプランについては当社ホームページに掲載していますのでご参照ください。

1. 取組状況について

- 釧網線では「SL冬の湿原号」の運転にあわせ、地域の皆様によるご利用のお客さまへの歓迎おもてなしや域内を巡るバスの運行をしていただき、鉄道の利用促進に取り組みました。
- 石北線、宗谷線などでは、ご利用の少ない駅の廃止を行い、線区の管理費節減に取り組みました。なお、ご利用の少ない18駅は4月より関係自治体に管理していただいております。
- 富良野線、根室線などでは、線区のご利用機会創出のため、SNSなどを活用したPRに取り組みました。
- 地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

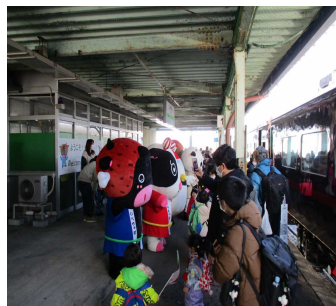
2. 今後の進め方について

- 第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）に取り組む第2期事業計画（アクションプラン）を地域の皆様と一体となって推進し、線区の活性化に取り組んでまいります。
- 引き続き、新型コロナウイルス感染の拡大により、アクションプランの取組への影響が続くと想定されますが、感染防止に最大限留意しながら取り組んでまいります。
- アクションプランの検証を行う際には、新型コロナウイルスが及ぼした影響を踏まえた検証となるように進めてまいります。

釧網線(釧路～網走間)

「SL冬の湿原号」標茶駅お出迎えの実施

(1月23日撮影・標茶駅)



1月23日の運転初日、標茶駅の到着ホームでは沿線自治体のキャラクターによるお出迎えが行われました。また、SL運行に合わせ町内の飲食店まで無料送迎を行う「標茶グルメ号」が運行され、駅前では「しべちやうまいもん発見市場」を開催するなど、地域の皆様と一体の取り組みを行いました。

JR釧網本線維持活性化実行委員会が冬の釧網線をPR

(車内誌・2月号)



JR釧網本線維持活性化実行委員会では、車内誌1、2月号に「SL冬の湿原号」、「流水物語号」と題した記事を掲載したほか、1月4日～31日には札幌駅のデジタルサイン広告、1月15日～2月7日には札幌近郊列車への中吊り広告を行い、冬の釧網線をPRしました。

花咲線(釧路～根室間)

花咲線全通100周年告知の実施

(3月30日釧路駅)



根室市は、花咲線全通100周年を告知するポスターを設置しました。釧路駅では、駅をご利用になるお客さまの目に留まる改札口に大型ポスターを設置し、花咲線の利用促進に取り組んでいます。

別保駅イルミネーション装飾の実施

(12月23日撮影・別保駅)



別保駅エリアの自治会の皆様による駅舎のイルミネーション装飾が行われました。イルミネーションは手作り制作されたもので、同駅の冬の風物詩としてご利用のお客さまに大変喜ばれておりました。

石北線(旭川～網走間)

ご利用の少ない駅の廃止などによる維持管理費の節減

(3月12日撮影・東雲駅)



地域の皆様のご理解をいただき、3月のダイヤ改正でご利用の少ない東雲駅、生野駅など4駅を廃止しました。また、4月から瀬戸瀬駅の維持費用負担と管理を遠軽町が行うことになりました。

交通マップの作成による利用促進



北見市はJR及び路線バスの乗り方や路線バスの系統図を掲載した「北見市交通マップ」を1月に作成し、北見市内の公共施設に配置し、市民の皆様へ公共交通の利用促進を呼びかけました。

※経費削減の取組を緑字で記載しました。

宗谷線(旭川～稚内間)

ご利用の少ない駅の廃止などによる維持管理費の節減

(3月12日撮影南比布駅)



地域の皆様のご理解をいただき、3月のダイヤ改正でご利用の少ない12駅を廃止しました。また、4月から17駅の維持費用負担と管理を沿線自治体が行うことになりました。

新たな乗車方法の告知協力

(広報による3月号)



宗谷線旭川・名寄間において、新型車両を導入し、乗車方法を変更しました。比布町、和寒町、剣淵町、士別市、名寄市が広報誌に注意点を掲載するなど、住民の皆様への告知にご協力いただきました。

富良野線(富良野～旭川間)

「富良野線PR動画コンテスト」の実施



令和2年7月より募集していた「JR富良野線PR動画コンテスト」の受賞作品を3月からYouTubeで公開し、富良野線の魅力の発信と来訪機会の創出に取り組みました。

根室線(滝川～新得間)

沿線在住小学生などに根室線をPR



根室本線対策協議会が根室線に関心を高めていただくため、根室線の歴史などを紹介したクリアファイルを4,000枚作成し、沿線在住の小中学生等に配布しました。

「JRふらの線ぶらっとMAP」の作成



JR富良野線連絡協議会は、駅周辺の観光スポットやレジャー施設、飲食店など沿線の魅力を紹介した「JRふらの線ぶらっとMAP」を作成し、駅や公共施設などに設置しました。MAPに施設の割引特典を付けるなど、富良野線沿線の皆様と利用促進に取り組んでいます。

「根室線PR動画」の作成



根室本線対策協議会は、根室線沿線の魅力の発信、来訪機会の創出と地域の活性化を目的にPR動画を作成しました。動画は協議会や各自治体ホームページ等において公開されています。

室蘭線(苫小牧～岩見沢間)

鉄道文化の歴史を伝える大型パネルを展示

(2月撮影・追分駅)



安平町は、追分駅待合室に、鉄道文化の歴史を伝える大型パネルを展示しました。安平町は、鉄道の町の玄関口として追分駅を情報発信に活用しており、室蘭線の利用促進のため、新たな魅力をPRしています。

日高線(苫小牧～鷗川間)

苫小牧駅トイレ改修による利便性の向上

(3月撮影・苫小牧駅)



苫小牧市にご支援いただき、老朽化していた苫小牧駅改札前のトイレの内外装の改修や洋式化を行いました。これにより駅の利便性が向上しました。

SNSを活用した「魅力発信コンテスト」の実施



JR室蘭線活性化連絡協議会は、室蘭線の新たな楽しみ方を発掘し、沿線の魅力を発信し、来訪機会の創出するため、SNSを活用した「室蘭線で出かけようインスタ出かけコンテスト」を実施しました。

公共交通利用促進ポスター作成・掲示



苫小牧市は12月1日～2月14日「TOMAILLU SQUARE2020」の開催にあわせ、会場までの鉄道やバス時刻を掲載したポスターを作成し、日高線沿線の駅及び公共施設に掲出しました。